

# 医工連携推進協議会通信

令和 5 年春季号（令和 5 年 3 月発行）

## 《開発新製品》 医療廃棄物容器電動開閉装置【ミューカス (Mewcas)】 製造販売・営業活動を開始しました。

### ◎済生会境港総合病院への納品・寄贈

鳥取県済生会境港総合病院と本協議会との共同研究により開発した「医療廃棄物容器電動開閉装置・ミューカス」（本通信・令和 4 年冬季号で既報）について、同病院から正式な発注を受けて 7 台を納品するとともに、その開発に携わった(株)カノン・(有)ニシモト・(株)日本マクロシステムの 3 社から、同病院に 3 台を寄贈されました。

この寄贈は、「済生会境港総合病院で必要とされる医療機器の充実により、一層の地域医療の向上に資していただく」という目的に加え、同病院からの企画提案、共同研究・試験運用等への協力に対する御礼とともに、全国済生会や他の済生会病院への PR 用の器材として活用いただきたい、という思いを込めて行われました。



令和 4 年 12 月 22 日に同病院会議室で開催された寄贈式では、佐々木祐一郎病院長から「当病院のニーズに基づく共同研究から大きな成果が生まれたこと」、「自動開閉という機能が病院での感染予防対策に非常に重要であること」、「医療従事者の安全確保かつ効率的な作業実施に絶大な効果があること」との御挨拶をいただくとともに、3 社に対し感謝状を授与されました。

その後早速に、病院各部署の担当者が使用方法を確認し、それぞれに持ち帰って運用を開始しました。各署からは、「廃棄の際に両手が使えて非常に便利」、「開閉に脚で踏む必要がないので作業が安全」など、多くの好意的な御意見・御感想をいただいています。

### ◎済生会熊本病院での製品デモンストレーション

令和 5 年 2 月 17 日、「ミューカス」実機 1 台を持参して、済生会境港総合病院系列の済生会熊本病院（副島秀久名誉病院長・済生会熊本県支部長）を訪問し、宣伝・販売促進のためのデモンストレーションを実施しました。

開発企画考案者の済生会境港総合病院・津田公子副病院長と住田広明事務部長にも御同行いただき、開発の経緯や境港総合病院での導入状況を紹介したところ、副島先生から「済生会から生まれた機器開発であり、全国の済生会病院に案内して導入を進めてはどうか」との非常にありがたい御意見を頂戴しました。本協議会と製造開発者は、これを大きな糸口としてビジネス化を図っていくため、早速そのための必要な改造、更なるコストダウン等の検討に入りました。



←左から、カノン竹本社長・熊本病院副島秀久名誉病院長・境港総合病院津田公子副病院長・住田広明事務部長



済生会熊本病院外来がん治療センター

### ◎試用機の貸出し

現在、米子市福祉保健総合センターふれあいの里の新型コロナウイルスワクチン集団接種会場に「ミューカス」試用機 1 台を設置し、ワクチン接種時の医療廃棄物（使用済注射針など）容器に使用し、デモンストレーション及び従事者からの意見聴取を継続しています。

この試用機は、他の場所での使用のため無償で貸し出しますので、医療機関・社会福祉施設等で試してみたいという御希望がありましたら、本協議会事務局まで御連絡ください。

## 「医工福連携」での新たな展開！

### 転倒しても骨折しにくい畳床を、高齢者福祉施設とマッチング！

今年度の重点項目として「医工福連携」を掲げているところですが、かねてより、賛助会員の社会福祉法人みずうみ（岩本雅之理事長・松江市）から「転倒しても骨折しにくい床敷き」の情報収集の依頼を受けていました。

高齢者福祉施設においては、利用者の寝たきりに繋がりがねない転倒・骨折の予防が重要課題であることから、「通常時は歩行や車椅子の通行に支障のない適度な固さを有しながら、もし高齢者が転倒した際には柔らかく受けとめて骨折を防ぐ機能を有する床材を探してほしい」という依頼でしたが、このたび圏域内で、その依頼内容に合致する製品情報を入手しましたので、早速にマッチングを図って現場でデモンストレーションを実施しました。

- 1 日時 令和5年2月16日（木）午前10時～
- 2 場所 （社福）みずうみ 地域包括ケア・交流型在宅ステーション
- 3 製品名 「ミグサケア」(MIGUSACARE)  
転倒時の衝撃緩和性能と歩行性を両立させた畳床
- 4 製造者 積水成型工業(株)出雲工場



高齢者施設現場でのデモンストレーションの様子

「ミグサケア」は、島根大学総合理工学部建築デザイン学科・清水貴史准教授の研究室と本社との共同研究により開発された「衝撃緩和畳床」で、他に類のない次のような特徴を有しています。

- ① 住宅・施設内での転倒時の衝撃を和らげる。  
(柔道場の床の基準が65Gであるのに対し、本畳床は42G)
  - ② 従来の衝撃緩和型床材より薄いが、高い衝撃緩和性能を持つ。
  - ③ 高い衝撃緩和性能を持ちながら、歩行感を損なわない。
  - ④ 置き敷きできる薄型の畳で、必要な場所・面積で設置可能である。(83cm角の正方形、厚さ23mm・半畳ほどのサイズ)
- ※ 研究開発・製造とも圏域内（島根県東部）であり、昨年末から販売を開始されています。

☆本協議会では、上記のような情報収集の依頼を、無償で承っています。製品情報、既製品の有無その他医工福連携に関する相談等については、本協議会 HP の「医工福連携なんでも相談コーナー」から、お気軽にお問い合わせください。

## 大阪・東京での「医療・福祉・介護機器等の展示会・講演会」に参加しました！

新型コロナウイルス感染症の影響により、近年は集客のある大規模イベントが開催されていませんでしたが、感染者の減少に伴い、このところ全国各地で「医療・福祉・介護機器等の展示会・講演会」も再開されてきました。

今年に入って大阪・東京で開催された下記の2つの展示会・講演会に、事務局職員・アドバイザーが参加し、視察、情報収集等をしてきました。

医工連携関係の最新情報等、現場でこそ感じられる有意な情報もありますので、令和5年度以降、賛助会員企業からも多く参加されるよう、適宜イベントの開催状況をお知らせしていきます。

- ◎メディカルジャパン 2023 大阪 (R5/1/18~20) インテックス大阪  
※介護・看護 EXPO には「とりだい病院 新規医療研究推進センター」が開発製品等を展示されていました。
- ◎ケアテックス東京 '23 (R5/3/22~24) 東京ビッグサイト南展示棟



### 【事務局からのお知らせ・お願い】

〈担当〉事務局：大江淳史・山根修 アドバイザー：眞野博光  
TEL：(0859)57-5226 Email：keniki-ikou@sea.chukai.ne.jp

#### 賛助会員企業の皆様へ：

- ・紹介ページの内容に変更等がありましたら、メールで変更内容をお知らせください。
- ・まだ紹介ページを作成されていない賛助会員は、随時申込みを受け付けています。
- ・製品、技術紹介ページも引き続き募集していますので、情報提供をお願いします。

#### 構成団体の皆様へ：

- ・本協議会の活動推進のため、医療機関、福祉施設、介護施設等からのニーズを常時収集しています。紹介いただける施設等がありましたら、ぜひお知らせください。
- ・今年度の事業計画の一つである「医・工・福連携」を推進するため、賛助会員に加入いただける医療機関、福祉団体等がありましたら、ぜひ事務局にご紹介ください。

情報募集中！

HP・QR

